

令和 6年 8月 19日

東員町議会

議長 伊藤 治雄 様

東員町議会

大谷 勝治

研 修 報 告 書

研修期間	令和 6年 8月 7日 (水) ~ 8月 8日 (木) 【2日間】
研修 (視察) 先	1 日目兵庫県三木市 2 日目兵庫県洲本市役所
目的 (テーマ等)	1 日目・まちづくり (団地再生プロジェクト) について 2 日目・決算 (議会) 事務事業評価について
参加議員名 (複数の場合)	議長・副議長含む全議員 (14名)
資料添付の有無	有 <input type="checkbox"/> ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

[議員氏名：大 谷 勝 治]

研修概要、内容、所感

1 日目兵庫県三木市役所

研修事項・まちづくり（団地再生プロジェクト）について

三木市総合政策部緑結び課

郊外型戸建住宅団地再生事業

課題 人口減少・少子高齢化に伴う産業等、町の活力の低下

人口約7.4万人兵庫県神戸のベットタウン

400年の歴史を持つ金物のまち

三木市緑が丘ネオポリス 307ha 5,450 区画

第1期開発 1971年入居開始 3,000 区画緑が丘地区

第2期開発 1975年入居開始 450 区画緑が丘地区

第3期開発 1985年入居開始 2,000 区画青山地区

生涯活躍のまちづくりから現状は、

東員町ネオポリスの現状打開にも団地再生プロジェクトに期待する

高齢化率 40%以上

- ・東員町ネオポリス核家族世帯をターゲットに長くは続かなかった。
- ・今小規模住宅開発が在来地域にも広がっている。
- ・富裕層の高齢者は利便性を求めて出ていく。
- ・町も高齢者の健康管理に気配り
- ・高齢者対策は今後も続き町全体が疲弊していく
- ・団塊の世代が名古屋方面に通勤に使っていた高速バスも活気がない。

私が住む団地は1期開発 1976年東員町ネオポリス笹尾西当時 3,300 区画

2期開発後半 1989年城山に移り住む 700 区画

以上

[議員氏名：大 谷 勝 治]

研修概要、内容、所感

2 日目兵庫県洲本市役所

研修事項・決算（議会）事務事業評価について

事務事業評価のスケジュールについて。

事務事業評価は決算特別委員会において、実施している。

- ・ 6 月定例会の開催中、付託議案審査とあわせて、総務・教育民生・産業建設の 3 つの常任委員会で 9 つの事業を抽出。
- ・ 7 月末までに議員協議会において、抽出した 9 事業を確認し、理事者へ通知する。
- ・ 8 月末までに決算事務事業評価説明説明シートの提出をする。
- ・ 9 月定例会の会期中に決算特別委員会の審査にあわせて事業評価（委員会評価報告書）
- ・ 9 月定例会閉会后、議長から市長へ決算事務事業評価の提言書を手渡す。
(同席者副議長・決算特別委員会正副委員長・副市長・教育長)
- ・ 11 月末までに「委員会評価報告書」に対する検討結果などの報告書の提出を行う。
- ・ 評価方法について
- ・ 決算特別委員会は分科会を設けずに事務事業評価を実施正副議長、前年度の監査員当該年度の監査委員を除く（14 名）
- ・ 9 月定例会の会期中に設置されます決算特別委員会で評価事業を選択することは、短期間で調書の作成を求めることとなり、理事者の負担が大きい、6 月定例会の議案審査に合わせて、3 つの常任委員会において、所管する事務事業あら 3 事業を抽出し、9 事業を対象に、事務事業評価を実施しています

東員町の事務事業評価の取組について

基本的には研修を受けた洲本市とスケジュールなどの設定は比較的同じと思います。東員町の事務事業評価についてはマネジメントシート（行政側の評価一覧表）を用いて総務建設・教育民生常任委員会の 2 つの分科会において事業の抽出を行い。予算決算常任委員会と事務事業評価が出来る体制が出来、当初予算を審査する予算審査特別委員会も決算特別委員会も立ち上げることなく 3 月から 3 か月毎の予算決算委員会を開催。

以上